

〈第68回全国盲学生短歌コンクール〉

短歌コンクールは、昭和32年に岐阜盲学校高等部生徒会が「生徒会活動の閉塞感を打破する手ごたえのある活動はないか」と国語科教員に相談したことを契機に始まりました。当初は、中部地区盲学校の生徒会に呼びかけ、次いで全国に対象を広げていきました。

今年度の選者については中京大学文学部日本文学科客員教授並びに現代歌人協会理事の小塩卓哉先生にお願いしました。今回も全国から数多くの応募をいただき、厚く感謝申し上げます。

応募総数は260首、応募者は158人、学校数は14校でした。応募された中から特選1首、入選9首、佳作19首が選ばれました。

【特選】1名

筑波大学附属視覚特別支援学校 中二 中山 杏珠（なかやま あんじゅ）
息上がる 道着を掴んで 抑え込む 力を出し切る 残り十秒

【入選】9名

- ① 埼玉県立特別支援学校塙保己一学園 普三 カーン・ファティマ・フランシスコ
母の日に 渡したコロン ドキドキだ 母の笑顔に シトラス香り
- ② 埼玉県立特別支援学校塙保己一学園 普二 皆川 優伊（みなかわ ゆうい）
夏休み 計画立てずに 迎えると 壺か月後に タイムスリップ
- ③ 筑波大学附属視覚特別支援学校 中二 鈴木 理央（すずき りお）
桜散り 自分の番だと オレンジの 実をつけ始める 五月のびわの木
- ④ 神奈川県立平塚盲学校 普二 森子 恵有（もりこ えうる）
満月に 手を差し伸べて 夢をみる どこまでも続く 未知の世界へ
- ⑤ 山梨県立盲学校 普二 佐久間 翼（さくま つばさ）
充電中＝赤 充電 フル＝緑 お母さんにも 怒りランプ ついてたらいいなあ
- ⑥ 岐阜県立岐阜盲学校 小五 ハスラー
扇風機 ピロピロピロロ 涼しいな 触ってみたい ピロピロピロロ
- ⑦ 広島県立広島中央特別支援学校 中一 沖原 かいら（おきはら かいら）
たまにはね かわいい服を 着てみたい ありのままって なんだっけ
ひますぎて 宇宙にひとりで いるみたい みんな今ごろ 何してるだろ
- ⑧ 広島県立広島中央特別支援学校 中三 田中 一華（たなか いちか）
受験日へ カウントダウンが 続いている 時間は過ぎる 私を残して

全国盲学生短歌コンクール休止のご案内

近年の盲学校（視覚支援学校等）在籍児童生徒数減の動きは当校でも顕著で、来年度以降高等部生徒会の活動を休止することとなりました。それに伴い、当コンクールの在り方の検討を進めてきましたが、今回をもちましてひとまず休止という結論に至りました。68回にわたるコンクール実施に当たり、応募していただいた児童生徒の皆さん、指導に当たられた先生方をはじめ、ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

これまで短歌に親しまれた皆様におかれましては、引き続き制作活動に取り組んでいただき他のコンクールに挑戦するなど、当コンクールの精神を引き継いでいただければ幸いです。

長い間ご応募いただきありがとうございました。